

【Advanced I】

筆記試験 <聴音> 例題集

- 聴音は、アンサンブル・スタイルの楽曲（1～2分程度のミュージックデータ）を聴き、(1)メロディー (2)コード (3)リズム の3点を聴き取るものです。楽曲はメロディー（楽器音による演奏）、リズム（ドラム）と、複数の伴奏楽器から成るバンドのスタイルです。（なお、音源の実例および正解例は略します。）

<問題例>

1 Am7 Am7

5 A7 Dm7 E7

9 Am7 Dm7 G7

13 B^b6 Dm7 D[#]dim E7

17 Am7 Dm7 E7

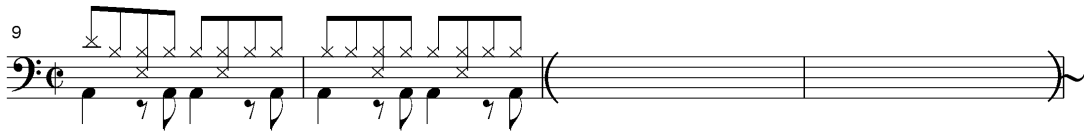
21 E7 Am7 F7 E7 Am

問題 1. 抜けている部分を埋め、楽譜を完成させなさい。

() には音符を、□ にはコード・ネームを書き入れること。

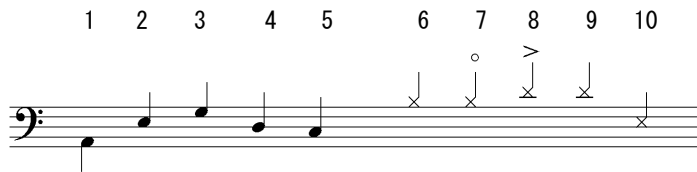
- 曲全体が5回再生されるので、空欄となっているメロディー、コードを聴き取って埋めていきます。メロディーでは、音程や臨時記号、リズム（譜割）が正しく書き取れているかが問われます。コードでは、ノン・ダイアトニック・コードやaug、dim、m7(b5)のような変則的なコードも出題される場合があるので、さまざまな種類のコードの響きを聴き分けられることが求められます。また、前後のコードとの関係からある程度該当コードを予測することも、場合によっては有益でしょう。

問題 2 下の楽譜は9~12小節までのリズム・パートです。抜けている部分を埋め、楽譜を完成させなさい。



(ドラム記譜に関して)

1. バス・ドラム
2. スネア・ドラム
3. ハイ・タム
4. ミドル・タム
5. ロー・タム
6. クローズド・ハイハット
7. オープン・ハイハット
8. クラッシュ・シンバル
9. ライド・シンバル
10. リム・ショット



- リズム聴音では、曲の該当部分（4小節）のみ、リズム・パートのみで3回再生されるので、空欄の2小節分を聴き取って記入します。基本的には、バス・ドラム、スネア・ドラムとハイハット（またはライド・シンバル）から成るパターンを把握することが中心になりますが、アクセント（クラッシュ・シンバルやオープン・ハイハット等）も聴き落とさないように注意しましょう。